


イムス
IMSグループ主催
令和4年度 医療安全管理者養成講習会 実施要項

本研修プログラムは、厚生労働省「医療安全管理者の業務指針および養成のための研修プログラム作成指針」に準拠しています。

- 目的：医療安全管理者として必要な知識・技術を習得し、医療安全を推進する。
- 受講資格：医療従事者として経験年数3年以上の者で、下記1・2のいずれかに該当する者
1. 医療機関において医療安全管理に関わっている者、またはその任にあたる予定のある者
 2. 医療安全管理を学ぶ意欲のある医療従事者
- 方法・時間：e-learning（35時間程度）＋集合研修（7時間）
- 期間：令和4(2022)年7月25日(月)～9月24日(土)
- ◇ 開講オリエンテーション：7月25日(月) 10時00分～11時00分 Zoom
 - ◇ e-learning 受講期間：7月25日(月)～9月19日(月)
 - ◇ 集合研修：9月24日(土) 9時00分～17時00分 集合(池袋)
 - ◇ 閉講オリエンテーション：9月24日(土) 17時15分～17時45分 集合(池袋)
- 内容：別紙プログラム参照
- 定員：50名
- 受講料：¥60,000（税込） ※受講料の振込先は、受講決定通知と併せてお知らせいたします。
- 申込期間：令和4年6月6日(月)～6月30日(木)
- ※応募者多数の場合は選考の上、7月14日(木)までに参加の可否をお知らせします。
ご案内送付の際は、勤務先のご住所に申込者ご本人様宛てに送付いたします。
ご自宅宛てへの変更等のご希望がございましたら、申込専用フォームよりお知らせください。
- 申込方法：申込専用フォームより、お申し込みください。
- ≪URL: <https://forms.gle/qfCcSaCdvbYxs3NGA> ≫ または ≪QRコード:  ≫
- 主催：イムス IMSグループ本部事務局 イムス医療従事者生涯教育センター
- 担当窓口：イムス IMSグループ本部事務局 イムス医療従事者生涯教育センター 内藤・影山
〒170-0013 東京都豊島区東池袋 1-33-8 NBF 池袋タワー13階
Tel:03-6912-5236 E-mail:e-center@ims.gr.jp
- その他：
- 申込後のキャンセルは受講される講義日の2週間前まで受け付けます。以降のキャンセルおよび申込者の変更、また、お振込後の受講料の返金はいたしかねます。
 - 指定の受講期間内にe-learningの受講完了かつ集合研修に出席した方に「医療安全管理者養成講習会修了証」を発行いたします。

◆ 開講オリエンテーション（7月25日）のご案内 ◆

- 準備する物：パソコンやタブレット等の端末（マイク・カメラ機能のある端末を使用すること）
- その他：ZoomのURL等につきましては、受講決定通知と併せてお知らせいたします。

◆ e-learning（7月25日～9月19日）のご案内 ◆

- 準備する物：パソコン（タブレットやスマートフォンの利用は推奨しません）
- その他：
 - ・本研修におけるe-learning配信システム等の一部を、（公財）日本医療機能評価機構に委託しています。
 - ・セッション毎に、講義・テスト・アンケートがあります。受講期間内に必須科目全てを完了してください。
 - ・履修完了確認は、各自で行ってください（当方からの完了通知連絡はございません）。
 - ・集合研修のご参加は、9月19日（月）までにe-learningの履修が完了していることが必須条件です。
 - ・e-learningは、配信期間中（7月25日～令和5年6月30日）であれば繰り返し受講できます。

◆ 集合研修・閉講オリエンテーション（9月24日）のご案内 ◆

- 日時：9月24日（土）9時00分～17時45分（昼休憩60分含む）
- 会場：イムス池袋会議室（東京都豊島区東池袋1-33-8 NBF池袋タワー13階）
- その他：
 - ・集合研修のご参加は、9月19日（月）までにe-learningの履修が完了していることが必須条件です。
 - ・状況や講師都合等により、日程の変更や開催方法を集合からオンラインに変更する場合がございます。
 - ・オンライン開催に変更した場合、Zoomを使用いたします。予め、マイク・カメラ機能のあるパソコンおよびZoomアプリをご準備ください（同施設から複数人受講する場合も、1人につき1台のパソコンが必須です）。

◇アクセスマップ



JR山手線・埼京線・東京メトロ丸ノ内線・
有楽町線・副都心線・東武東上線・西武池袋線
「池袋」駅東口より徒歩8分

【Zoom】	開催日時
開講オリエンテーション	7月25日(月) 10:00～11:00

【e-learning】			
No	講義名	講師	所属
① 医療安全の基本的知識			
医療安全概論			
1	医療安全学概論	橋本 迪生	日本医療機能評価機構 常務理事
2	医療安全この20年	長谷川 剛	上尾中央総合病院 情報管理特任副院長
3	医療安全施策の動向	後 信	日本医療機能評価機構 理事/九州大学病院 医療安全管理部/ISQua
他分野から考える「安全」			
4	真に効果のある安全確認とは	田中 健次	電気通信大学大学院情報理工学研究所 教授
5	患者安全におけるFMEA 手法の活用		
② 安全管理体制の構築			
安全確保のための体制づくり			
6	医療安全管理者に期待される役割	長谷川 剛	上尾中央総合病院 情報管理特任副院長
7	TeamSTEPPS®を活用した組織体制・概要	辰巳 陽一	近畿大学病院安全管理部・医療安全対策室 教授
8	医療安全ラウンド	栗原 博之	日本医療機能評価機構 統括調整役
③ 医療安全についての職員に対する研修の企画・運営			
9	成人学習の基礎	小諸 信宏	医療法人社団誠馨会セコメディック病院
10	院内研修の実施と評価①		
11	院内研修の実施と評価②	猶本 良夫	川崎医科大学総合医療センター 院長
12	KYT の実践と職場導入のポイント	細川 香代子	東京都看護協会
13	5S 活動の基本		
④ 医療安全に資する情報収集と分析、対策立案、フィードバック、評価			
事例分析 理論と実践			
14	事例分析概論	楠本 茂雅	社会医療法人生長会クオリティ・マネジメント本部 部長
15	事例分析の実践		
情報の収集と活用			
16	医療事故情報収集等事業	坂口 美佐	日本医療機能評価機構医療事故防止事業部 部長
17	インシデント・アクシデント情報の有効活用	楠本 茂雅	社会医療法人生長会クオリティ・マネジメント本部 部長
⑤ 医療事故発生時の対応			
医療事故調査制度			
18	医療事故に関する法律の基礎知識	横田 重信	荒井東京法律事務所 弁護士
19	医療事故調査制度		
事故後の対応			
20	事故発生時の対応	長谷川 剛	上尾中央総合病院 情報管理特任副院長
21	医療コンフリクト・マネジメント概論	荒神 裕之	山梨大学医学部附属病院医療の質・安全管理部 特任教授
22	有害事象発生後の対応と医療者ケア		
⑥ 安全文化の醸成			
組織に安全な文化を醸成する			
23	レジリエンス・エンジニアリングと医療	中村 京太	横浜国立大学附属市民総合医療センター 医療の質・安全管理部 役職:部長 診療教授 /大阪大学医学部附属病院中央クオリティマネジメント部 特任教授
24	倫理的な安全、安全のための倫理	荒神 裕之	山梨大学医学部附属病院医療の質・安全管理部 特任教授
25	心理的安全性という考え方	辰巳 陽一	近畿大学病院 安全管理部・医療安全対策室 教授
各領域における医療安全の実践			
26	医薬品の安全管理	菅野 浩	済生会横浜市東部病院 薬剤部長
27	医療機器と医療安全	皆川 宗輝	横浜市立みなと赤十字病院 臨床工学部 技師長
28	医療安全と臨床検査	浅井 さとみ	東海大学医学部基盤診療学系臨床検査学 准教授
29	手術部門における安全	菊地 龍明	横浜国立大学附属病院 医療の質・安全管理部部長/ 医療安全・医療管理学 診療教授/病院長補佐 安全管理指導者
30	施設・環境・設備による安全	寛 淳夫	工学院大学建築学部 学部長・教授
31	高齢者・認知症のケアと医療安全	野村 優子	東京都立駒込病院 精神看護専門看護師
32	転倒転落予防と医療安全	黒川 美知代	武蔵野赤十字病院看護部 看護師長
33	在宅医療と医療安全	柏木 聖代	東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科 教授
34	せん妄について	小川 朝生	国立がん研究センター東病院 精神腫瘍科長
組織や地域における医療安全の展開 ～事例を通して～			
35	Rapid Response Systemとは	新井 正康	北里大学病院 集中治療センター長
36	地域における医療安全の広がりと連携	田和 菜穂子	セコム医療システム株式会社 運営監理部
37	患者家族による暴力・ハラスメントへの対策	三木 明子	関西医科大学看護学部 教授
38	医療安全のための基本的な医療関連感染対策	西岡 みどり	国立看護大学校 感染管理看護学 教授

【集合】				
No	講義名	講師	所属	開催日時
プログラム内容調整中				9月24日(土)
開講オリエンテーション				
杉山 良子				9:00～17:00
パラマウントベッド株式会社 主席研究員				17:15～17:45